

特集Ⅳ

「2024年春の新素材。期待素材①」

抗ストレス、スポーツニュートリション、ダイエットなど

春に突入し、新生活がはじまり、環境が変わったことによる生活への不安や、食生活をはじめとする栄養や健康への悩みを抱える人は多い。顧客分析ソリューション事業を行うデータコム(仙台市青葉区)は、新生活における食生活の悩みについて、30代までのミレニウム層を対象にアンケート調査を行った。その結果、生活環境の変化に伴って食生活に不安を抱える人は4割以上。中でも「栄養が偏る」ことを気にする人が約半数となった。一方で、「栄養の偏りを気にする人が欲しいもの」という問いでは、上位に「サプリメント」「機能性表示食品」という回答が見られた。こうしたサプリメントや機能性表示食品の需要を背景に、原料会社の提案も増加している。抗ストレス作用は新生活に伴つたストレスを軽減することで需要も高く原料としての引き合いは好調。このほか、運動パフォーマンスの向上に効果のある素材についても、アフターコロナでスポーツイベントが活発になったことで安定市場を構築している。美容やダイエット素材においては、インハウンドの復活により需要が高まり、新素材や新商品の上市が増えている。機能性表示食品に関しても、引き続き新たな関与成分やヘルスクレームでの受理が目立っており、今後も新たな動きに期待がかかっている。今号では、春の新素材・期待素材について紹介する。

新生活の悩みに健康食品求める声増加

還元型CoQ10包接体

ミトコンドリア機能障害の改善効果に期待

● シクロケム

シクロケム(東京都中央区、Soo6260)は、還元型CoQ10をγ-オリゴ糖(γ-シクロデキストリン)で包接し、吸収性を飛躍的に向上させた新素材「還元型CoQ10包接体」を最近上市した。CoQ10は、補酵素としてミトコンドリアにエネルギー代謝を

包接体を開発。酸化型CoQ10は、補酵素としてミトコンドリアの働きをサポートした後、還元され強力な抗酸化作用を発揮することが分かっている。しかしながら、疾病や加齢などによってミトコンドリアに機能障害が発生すると、生体内の還元型CoQ10が減少するとともに、酸化型CoQ10が増加することも報告されている。特に、新型コロナウイルスの感染や健康者を比較した複数の研究では、コロナ感染者は健康者と比べてCoQ10の総量が減少していること、さらに還元型CoQ10の減少および酸化型CoQ

10の増加が認められたほか、ミトコンドリア機能改善に有効なCoQ10およびリポ酸の摂取による新型コロナウイルス後遺症への有効性を示唆する論文も複数発表されている。こうした研究から、同社ではミトコンドリアの働きが正常な人は酸化型CoQ10包接体でも十分な効果が期待できる一方、新型コロナウイルス後遺症をはじめミトコンドリアの機能障害が発生している場合には還元型CoQ10包接体が有効であると考え、今後は還元型CoQ10包接体とR-αリポ酸の包接体を組み合わせたドクターズサプリメントの開発も視野に入れているという。